

## 安全性への配慮

### 指を挟まないための工夫

サッシの大型化・ガラスの複層化に伴い障子の重量が増加する一方、操作性の向上により動きはよりスムーズになっています。そこで、サッシに指を挟む事故を抑制するために、『障子閉鎖速度減衰機構（セーフティギア）\*』を開発しました。これは窓を閉めるときにのみ働く障子用のブレーキで、勢いよく窓を閉めても障子がたて枠に当たる前に減速する、安全性に配慮した機構です。

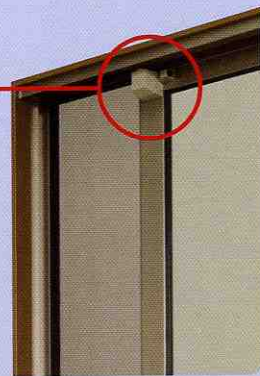
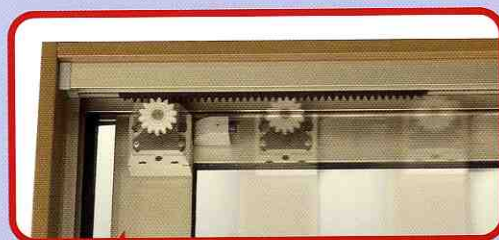
重くしかもスムーズな動きの窓は、気を付けて動かさないと衝撃で障子が跳ね返るくらいの強い力で閉まります。



『障子閉鎖速度減衰機構』（セーフティギア）が付いていれば、勢いよく窓を閉めても、指を挟む前に減速します。



### 障子閉鎖速度減衰機構（セーフティギア）



ブレーキ効果

障子閉鎖速度減衰機構を取り付けることにより、障子閉鎖速度が従来の約1/2<sup>(※)</sup>に減衰します。

※当社試験値、閉鎖速度により効果は変化します。

### 窓からの落下を抑制する工夫

網戸と障子を連結させることで、網戸の出し忘れがなくなります。窓を開けるとネットが同時に出てくるため、突然の風によって窓回りの軽い物が外に飛び出すことを抑制し、『開口制限ストッパー\*』を併用すればさらに高い落下抑制効果が望めます。

高層階では、突然の強い風で窓際の書類などが飛び散ることがあります。



窓と網戸を連結していれば、窓から物が落ちる事故を抑制します。



### 性能仕様

#### サッシ部

耐風圧性	S-5(2400Pa)～(5400Pa)
気密性	A-4(2等級線)
水密性	1000Pa
遮音性	T-2(30等級線) <sup>※1</sup> ・T-3(35等級線) <sup>※2</sup>
断熱性	H-1 <sup>※3</sup> ・H-2 <sup>※4</sup>
ガラス溝幅	38mm・43mm
戸車耐重量	150kg(障子1枚あたり)

#### 開口形式

引違い窓
外動片引き窓
両袖可動外動片引き窓

- ※1 4-A12-6、5-A12-6、6-A12-6 複層ガラス以上
- ※2 6+6防音合わせガラス以上、8-A12-12複層ガラス以上
- ※3 空気層6mm複層ガラス
- ※4 空気層12mm複層ガラス

#### ※標準装備外部品

- イーズハンドル(補助ハンドル)
- 障子閉鎖速度減衰機構(セーフティギア)
- 開口制限ストッパー